

2024年3月期 決算説明資料

株式会社 高松コンストラクショングループ 証券コード：1762

2024年5月15日

1. 2024年3月期 決算	2
2. 2025年3月期 業績予想・配当予想	21
3. トピックス	25

2024年3月期 決算

企業集団の状況

土木	建築	不動産	主要営業エリア
	高松建設		東京・大阪・名古屋
	高松テクノサービス		大阪・東京
		高松エステート	大阪・東京
	住之江工芸		国内（全国）
	金剛組		大阪・東京
	中村社寺		名古屋
	タカマツビルド		東京・神奈川
	大昭工業		大阪
	青木あすなろ建設		国内（全国）
	島田組		国内（全国）
	みらい建設工業		国内（全国）
	青木マリーン		国内（全国）
		エムズ	首都圏
	東興ジオテック		国内（全国）
		タカマツハウス	東京・神奈川・埼玉
		ミブコーポレーション	東京・神奈川
		タカマツハウス関西	大阪・兵庫
		高松CG USA	米国
高松コンストラクショングループ（純粋持株会社）			

2024年3月期 業績推移

- ◆ 売上高、売上総利益は前期比増も、営業利益は前期比減。親会社株主帰属当期純利益は、子会社において繰延税金資産の回収可能性について検討した結果税金費用が減少したことなどにより前期比増。

(億円)

項目	2021/3期	2022/3期	2023/3期	2024/3期	増減率
受注高	2,564	3,128	3,376	↓ 3,259	△3.5%
売上高	2,830	2,639	2,824	↑ 3,126	+10.7%
売上総利益	383	385	420	↑ 430	+2.4%
売上総利益率	13.5%	14.6%	14.9%	↓ 13.8%	△1.1pt
営業利益	121	112	120	↓ 116	△3.2%
営業利益率	4.3%	4.3%	4.3%	↓ 3.7%	△0.6pt
経常利益	121	114	117	↓ 113	△3.9%
経常利益率	4.3%	4.4%	4.2%	↓ 3.6%	△0.6pt
親会社株主帰属 当期純利益	74	67	75	↑ 91	+21.7%
当期純利益率	2.6%	2.5%	2.7%	↑ 2.9%	+0.2pt

2024年3月期 配当（配当額・配当性向）

- ◆2024年3月期は連結純利益が91億円と2024年2月7日に公表した見通しの76億円を上回ったことを踏まえ、2024年3月期の1株当たり年間配当金を、公表した見通しの77円から5円増額となる82円（配当性向31.1%）とした。

	見通し	実績	増配額
2023年 3月期	63円	▶ 70円	+ 7円
2024年 3月期	77円	▶ 82円	+ 5円

2024年3月期 業績結果のポイント

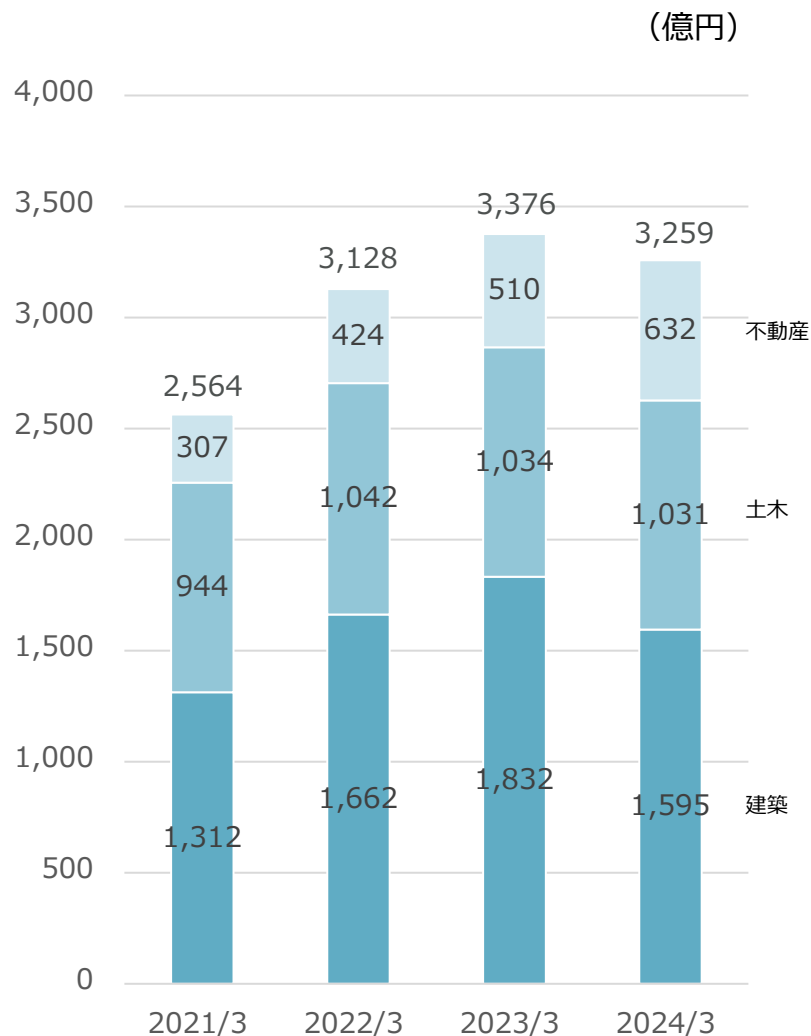
2024年3月期通期 業績結果	<ul style="list-style-type: none">受注・売上・営業利益ともに期初計画を下回った。建築セグメント、不動産セグメントが想定よりも伸びなかった。一部設備に関してはリードタイムが長くなっているだけでなく、設備業者の施工人員も不足気味となっている。施工人員については慢性的に不足状態が続いている。公共事業については物価スライドが適用されるケースもあるが、民間発注の工事については発注者へ転嫁の理解が得られないケースもあり、利益圧迫要因となった。
前期比	<ul style="list-style-type: none">公共建設投資は、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」、民間建設投資においては、外部環境の回復基調を受けどちらも堅調に推移し、前期比で増収となったものの、原材料価格、資機材価格の高止まり、労務費の上昇が続いたことから減益となった。
期初計画比	<ul style="list-style-type: none">タカマツハウスについては、建設費の高騰やコロナ禍での特需の反動もあり、マーケット環境の悪化に伴って受注・売上・利益ともに計画未達となった。高松建設については、原材料価格、資機材価格の高止まり、労務費の上昇に対応するため、受注時採算を重要視したことも影響し、受注が計画比で未達となった。

セグメント別 受注高

◆ 建築は高松建設、青木あすなろ建設の減少が影響し前期比△12.9%、土木は前期比△0.3%、不動産は高松建設とタカマツハウスの増加により前期比+24.0%。

セグメント別	2021/3	2022/3	2023/3	2024/3
建築	131,290	166,206	183,241	159,570
土木	94,445	104,235	103,438	103,114
不動産	30,717	42,447	51,000	63,229
連結合計	256,453	312,889	337,680	325,914

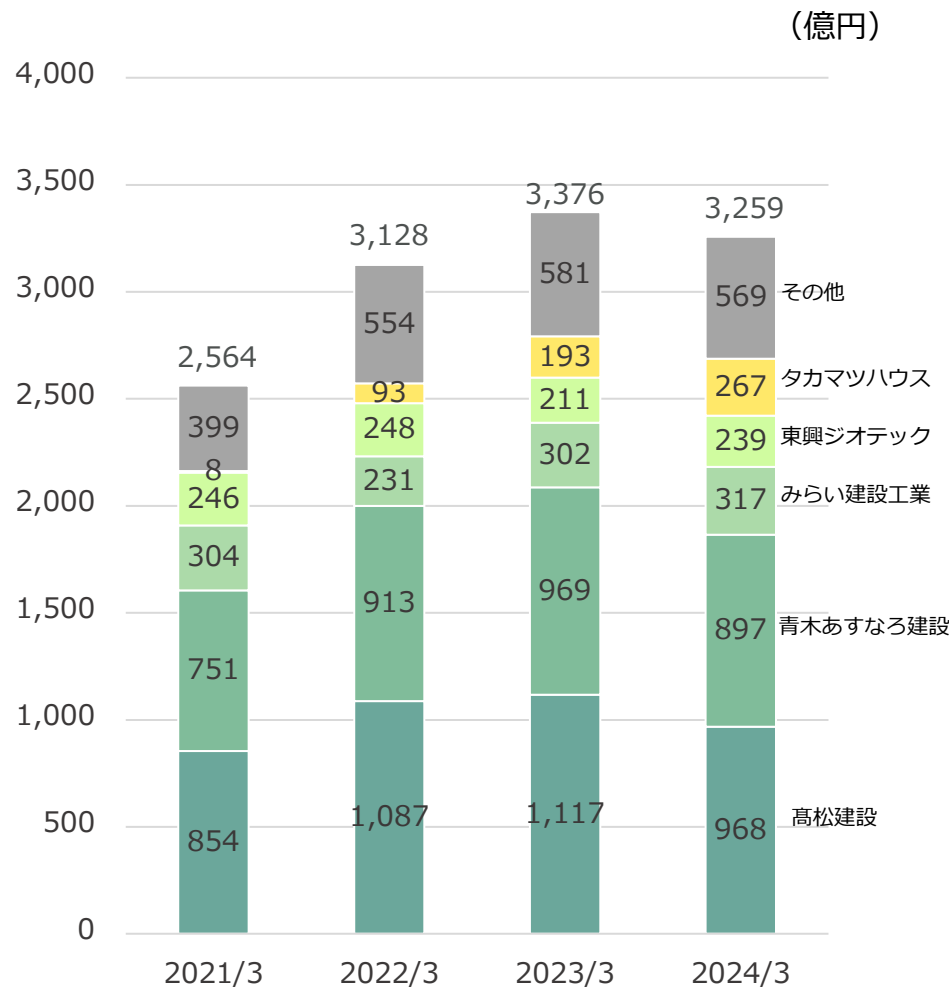
(百万円)



中核事業会社別 受注高

◆ 高松建設は前期大型案件受注が複数あり、その反動とマンションの受注減で前期比△13.3%と減少、青木あすなる建設は前期大型案件受注の反動もあり、前期比△7.4%、みらい建設工業は+4.8%、東興ジオテックは前期の不振から回復し、前期比+13.2%。タカマツハウスは前期比+38.0%。

会社別	2021/3	2022/3	2023/3	2024/3
高松建設 (単体)	85,494	108,721	111,702	96,831
青木あすなる 建設 (単体)	75,120	91,386	96,961	89,755
みらい 建設工業 (単体)	30,402	23,194	30,264	31,702
東興 ジオテック (単体)	24,617	24,810	21,188	23,988
タカマツ ハウス (単体)	843	9,309	19,366	26,724
その他 (含連結調整)	39,977	55,469	58,199	56,914
連結合計	256,453	312,889	337,680	325,914



中核事業会社別 次期繰越高

◆ 高松建設は前期比+2.2%、青木あすなろ建設は前期比+5.4%、みらい建設工業は△4.4%、東興ジオテックは受注の増加により+29.6%。タカマツハウスは△7.0%、全体で+3.1%となった。

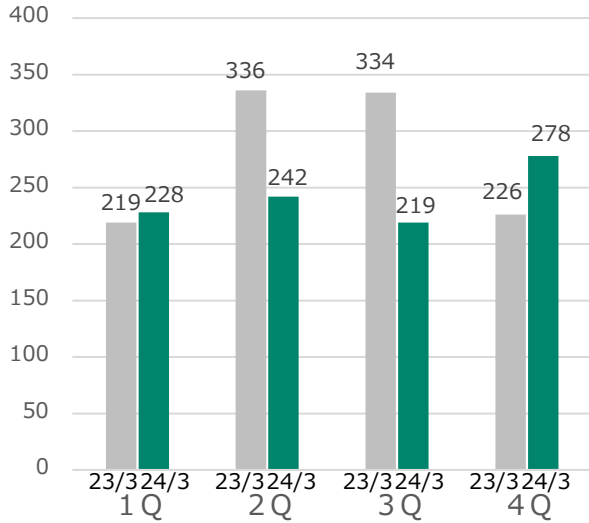
(百万円)

会社別	2023/3	2024/3	増減額	増減率
高松建設 (単体)	203,291	207,786	↑ 4,495	+2.2%
青木あすなろ建設 (単体)	建築	91,273	↑ 4,915	+5.7%
	土木	70,051	↑ 3,299	+4.9%
	合計	153,110	161,325	↑ 8,215
みらい建設工業 (単体)	34,810	33,290	↓ △1,520	△4.4%
東興ジオテック (単体)	10,172	13,183	↑ 3,011	+29.6%
タカマツハウス (単体)	2,685	2,497	↓ △188	△7.0%
その他 (含連結調整)	19,083	18,304	↓ △779	△4.1%
連結合計	423,151	436,385	↑ 13,234	+3.1%

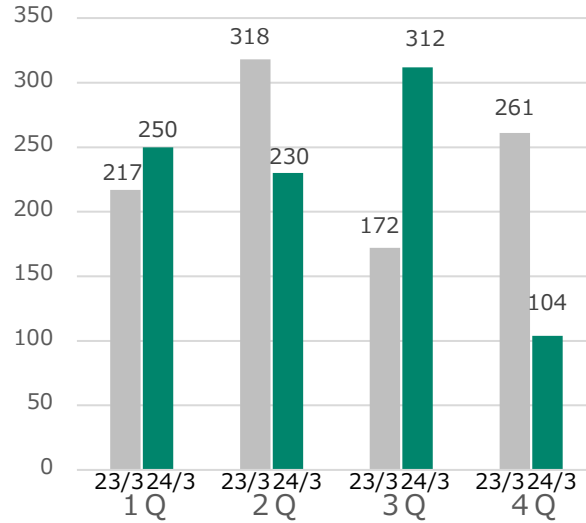
中核5社と連結合計の四半期ごとの受注高

(※ 数値は累計値ではなく四半期ごとの金額)

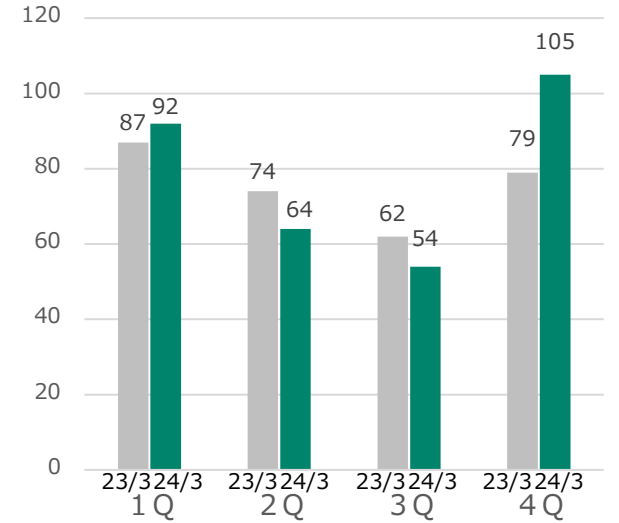
高松建設



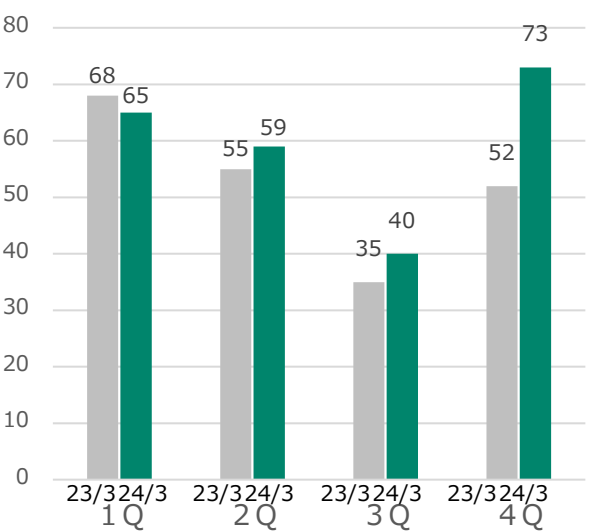
青木あすなろ建設



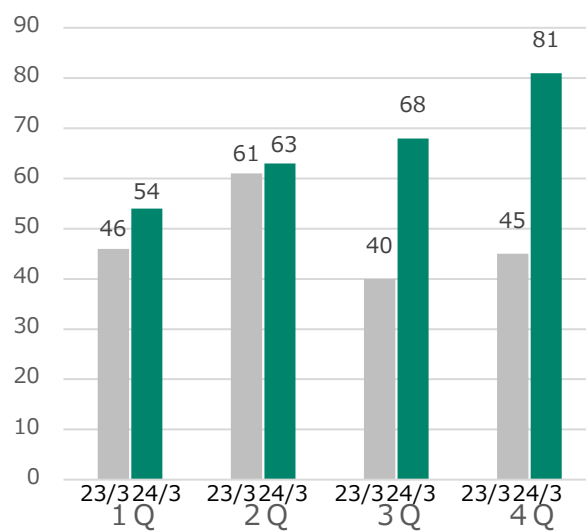
みらい建設工業 (億円)



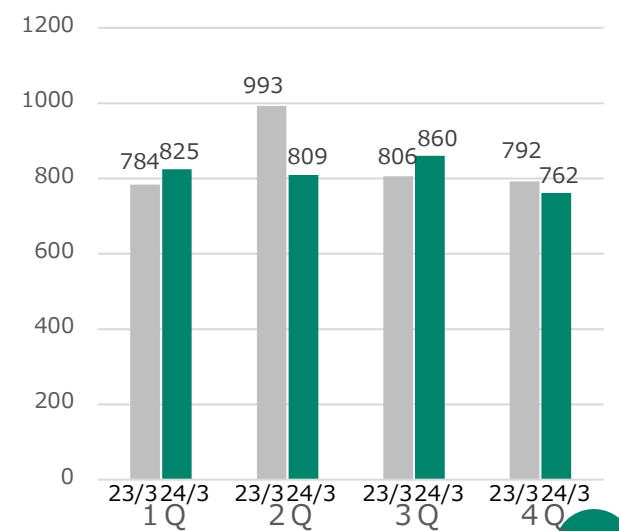
東興ジオテック



タカマツハウス



連結合計 (億円)



高松建設 マンション・非マンション別受注高

- ◆ 大阪・東京ともにマンションは受注時採算を重視した選別受注の影響もあり前期比大幅減。
- ◆ 大阪の非マンションは前期の第3四半期に大阪市淀川区での大型案件受注があり、主にその反動で減少も、前々期との比較では増加（22/3期大阪非マンション受注高：30,095百万円）。
- ◆ 東京の非マンションは大型案件受注などにより前期比大幅増。

マンション・非マンション別 受注高

(百万円)

	大阪				東京			
	2023/3	構成比	2024/3	構成比	2023/3	構成比	2024/3	構成比
マンション	15,422	24.9%	7,083	16.3%	37,157	74.7%	29,989	56.3%
非マンション	46,521	75.1%	36,470	83.7%	12,603	25.3%	23,290	43.7%
合計	61,943	100%	43,553	100%	49,759	100%	53,279	100%

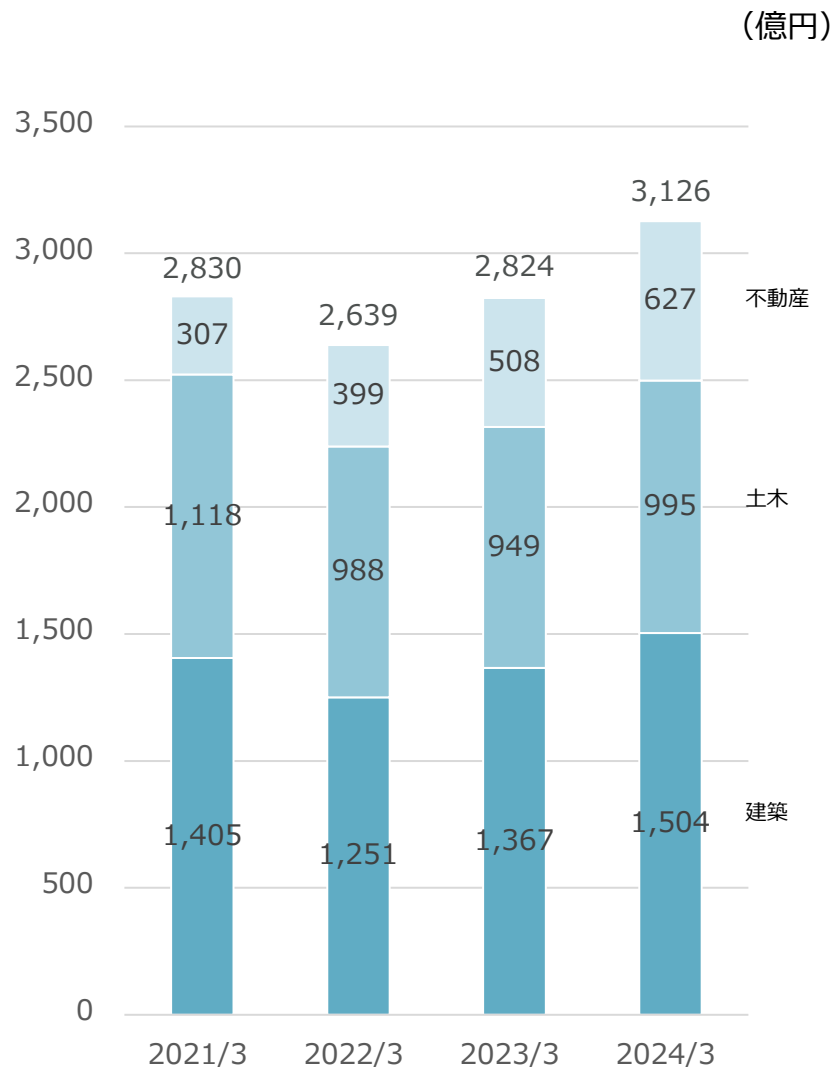
※数値はグループ会社間取引を含む。

セグメント別 売上高

◆ 建築は高松建設と青木あすなろ建設の増加により前期比+10.0%、土木はみらい建設工業の増加により前期比+4.9%、不動産は高松建設とタカマツハウスの増加により前期比+23.4%。

(百万円)

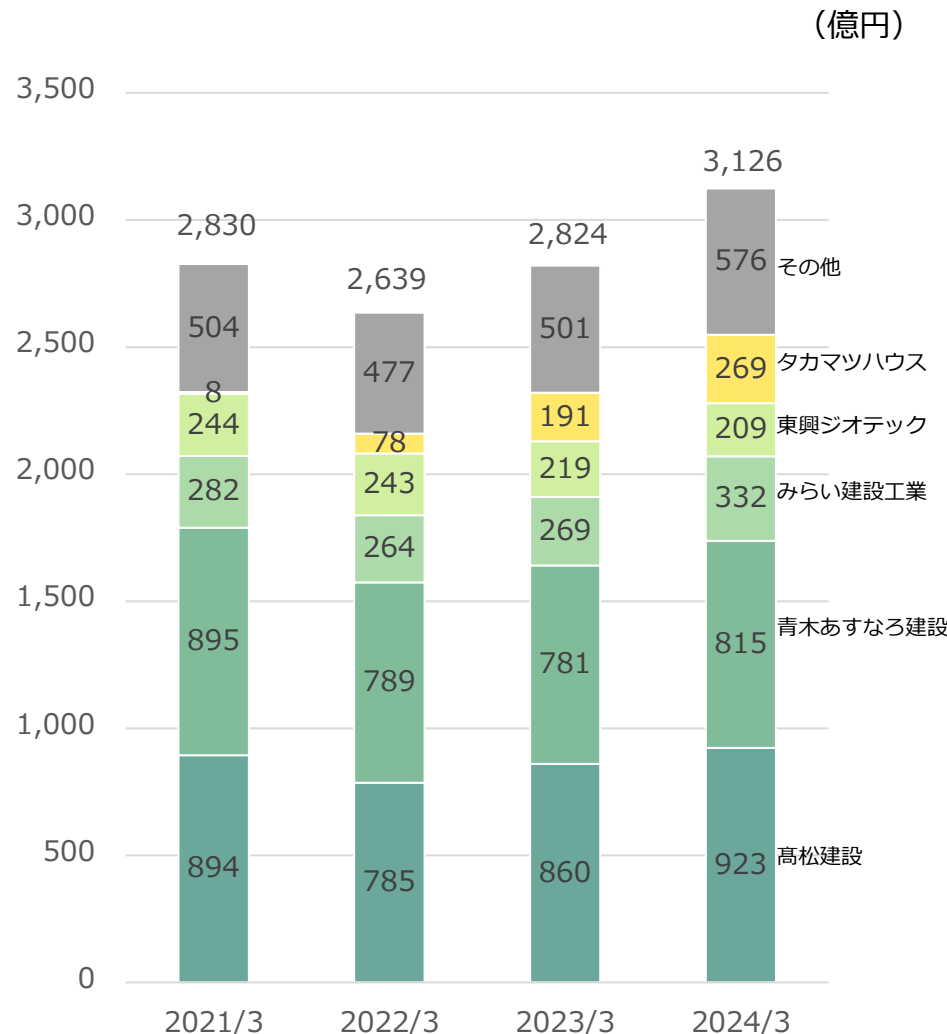
セグメント別	2021/3	2022/3	2023/3	2024/3
建築	140,537	125,136	136,774	150,403
土木	111,826	98,826	94,902	99,559
不動産	30,717	39,944	50,818	62,716
連結合計	283,080	263,907	282,495	312,680



中核事業会社別 売上高

◆ 高松建設は前期比+7.3%、青木あすなる建設は前期比+4.3%、みらい建設工業は順調に工事が進捗し前期比+23.4%と大幅増、東興ジオテックは△4.6%、タカマツハウスは前期比+40.3%と大幅増。その他中核5社以外のグループ会社も前期比+15.0%と増加。

会社別	2021/3	2022/3	2023/3	2024/3
高松建設 (単体)	89,425	78,539	86,056	92,336
青木あすなる 建設 (単体)	89,578	78,991	78,158	81,541
みらい 建設工業 (単体)	28,249	26,424	26,929	33,222
東興 ジオテック (単体)	24,488	24,320	21,990	20,978
タカマツ ハウス (単体)	843	7,880	19,184	26,912
その他 (含連結調整)	50,497	47,754	50,178	57,691
連結合計	283,080	263,907	282,495	312,680

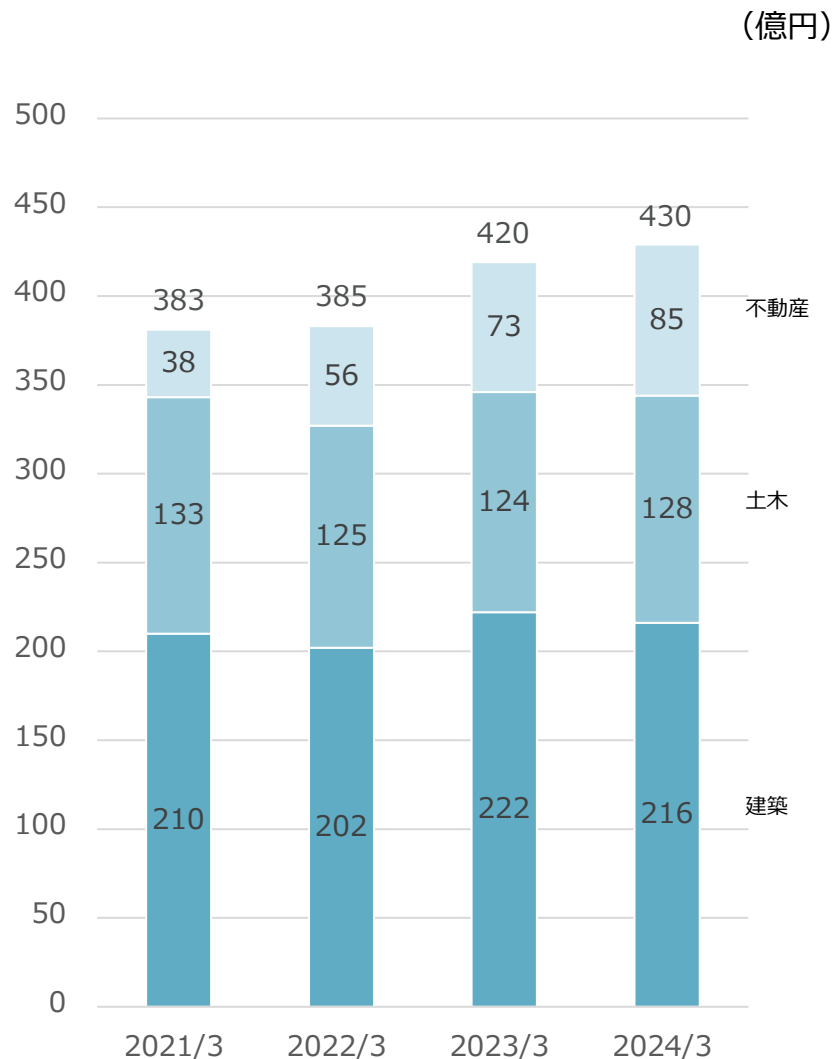


セグメント別 売上総利益

◆ 建築は前期比△2.8%、土木は前期比+3.2%、不動産は高松建設とタカマツハウスで増加し前期比+17.1%。

セグメント別	2021/3	2022/3	2023/3	2024/3
建築	21,081	20,289	22,232	21,614
土木	13,395	12,536	12,488	12,884
不動産	3,829	5,654	7,301	8,552
連結合計	38,305	38,542	42,022	43,052

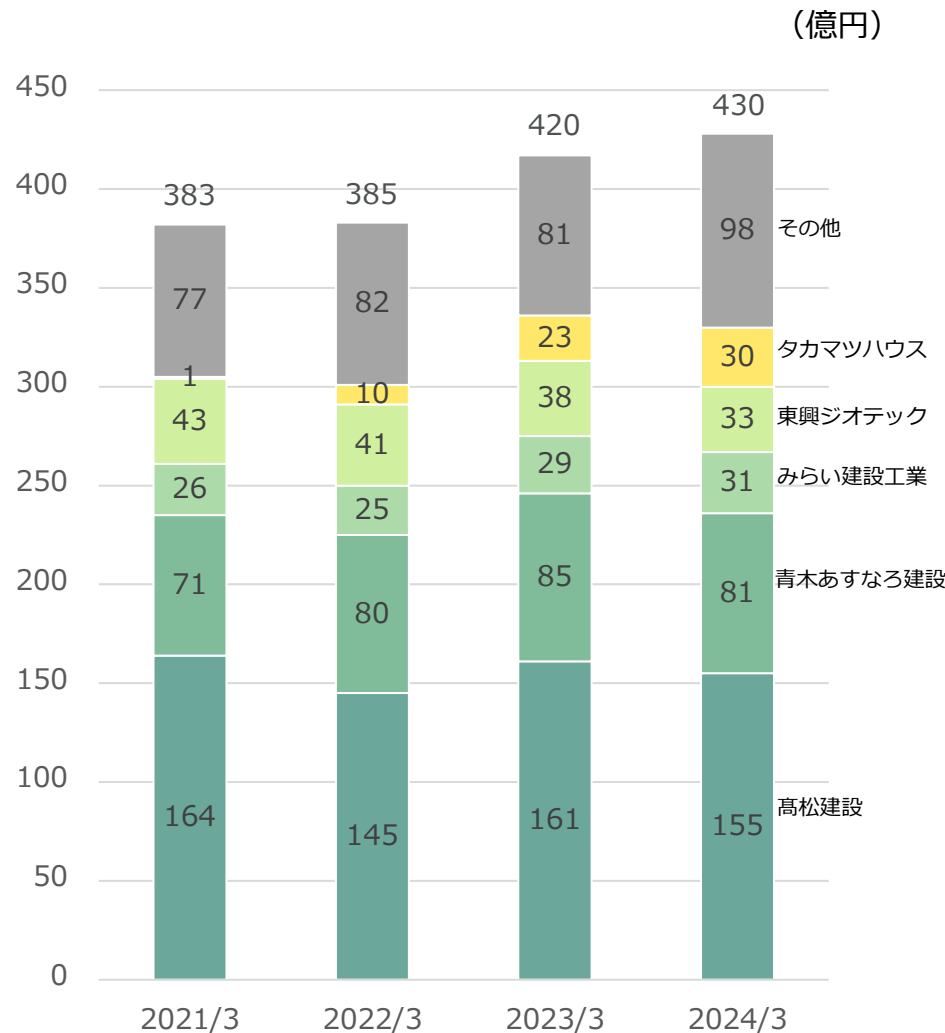
(百万円)



中核事業会社別 売上総利益

◆ 高松建設は前期比△4.1%、青木あすなる建設は△4.0%。みらい建設工業は売上の増加により+7.4%、東興ジオテックは売上の減少と売上総利益率の低下により△12.3%と大幅減、タカマツハウスは前期比+26.7%と大幅増。その他中核5社以外のグループ会社も+20.2%と大幅増。

会社別	2021/3	2022/3	2023/3	2024/3
高松建設 (単体)	16,408	14,541	16,169	15,509
青木あすなる 建設 (単体)	7,114	8,033	8,501	8,160
みらい 建設工業 (単体)	2,639	2,580	2,967	3,186
東興 ジオテック (単体)	4,310	4,118	3,844	3,369
タカマツ ハウス (単体)	123	1,038	2,389	3,026
その他 (含連結調整)	7,711	8,234	8,152	9,802
連結合計	38,305	38,542	42,022	43,052



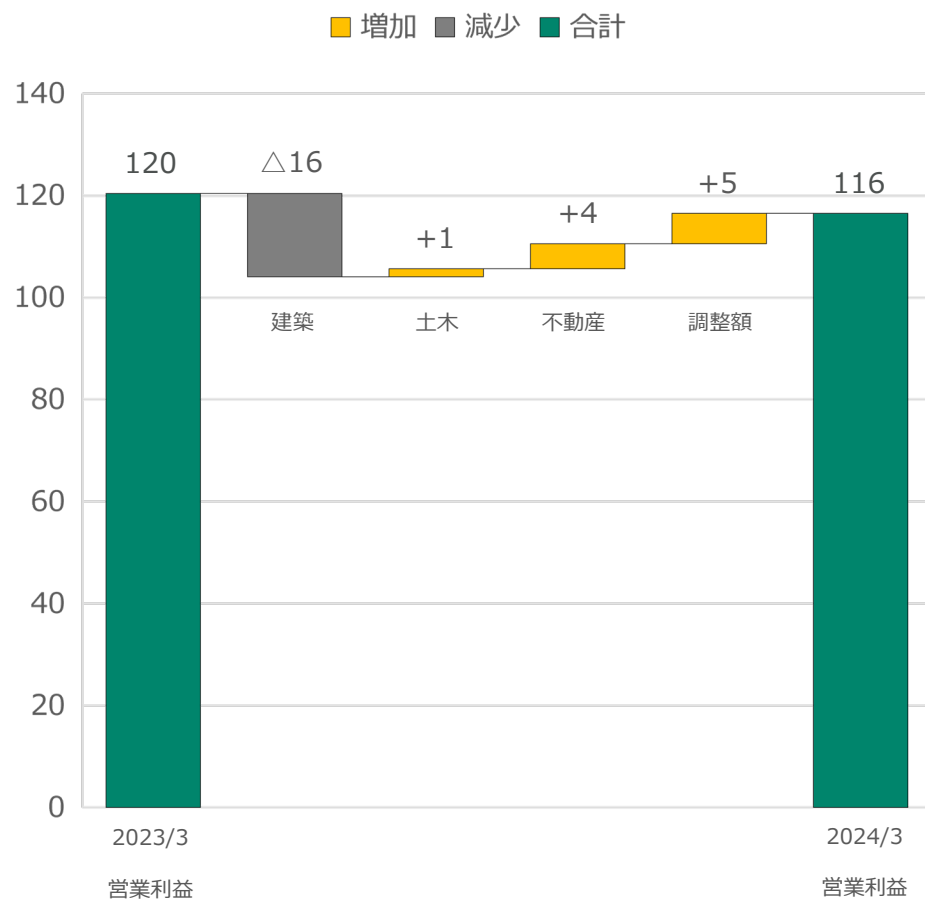
セグメント別 営業利益

◆ 建築は高松建設、青木あすなろ建設で減少し、前期比△23.2%、土木は前期比+2.4%、不動産は高松建設とタカマツハウスの増加により前期比+13.1%。

(億円)

(百万円)

セグメント別	2021/3	2022/3	2023/3	2024/3
建築	6,035	5,011	7,035	5,401
土木	8,166	7,297	6,702	6,861
不動産	1,886	3,227	3,761	4,253
連結調整	△3,889	△4,311	△5,459	△4,864
連結合計	12,198	11,225	12,038	11,651



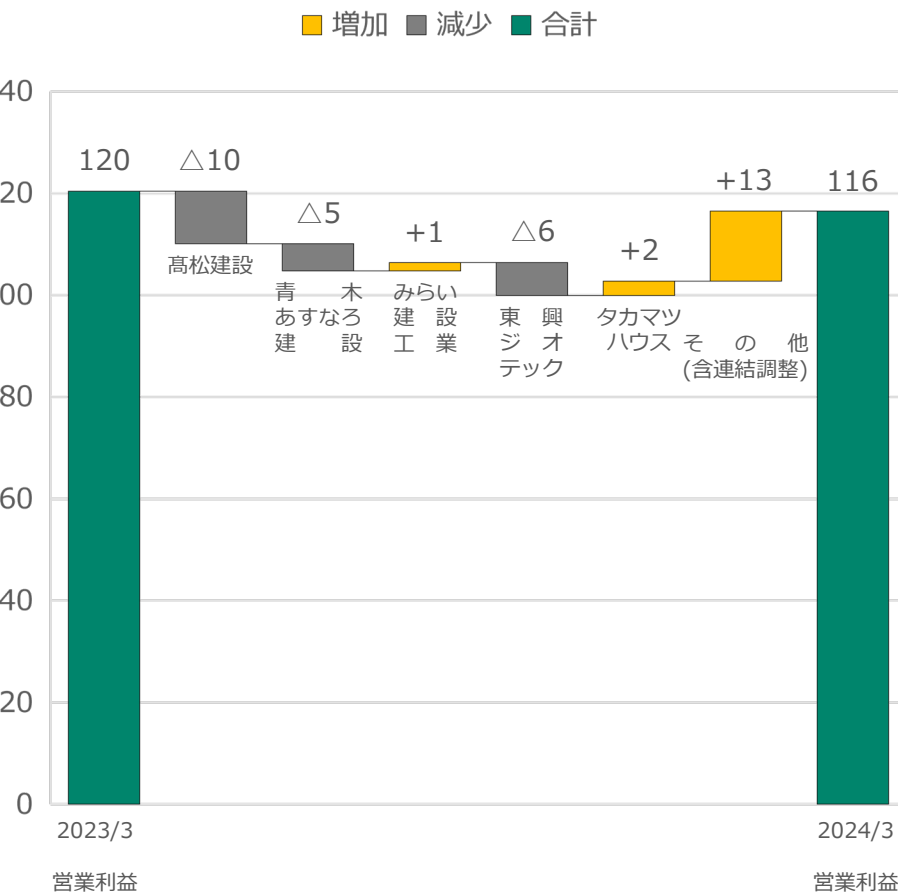
中核事業会社別 営業利益

◆ 高松建設は売上総利益率の低下、販管費の増加により前期比△19.6%、青木あすなる建設は売上総利益率の低下、販管費の増加により前期比△20.7%、みらい建設工業は売上総利益率は低下したものの売上が増加したことにより前期比+17.6%、東興ジオテックは売上の減少、売上総利益率の低下、販管費の増加により前期比△32.5%、タカマツハウスは売上総利益率の低下と販管費の増加はあったものの、売上の増加により前期比+33.0%。その他中核5社以外のグループ会社は前期比約4.3倍と不振から回復した。

(百万円)

(億円)

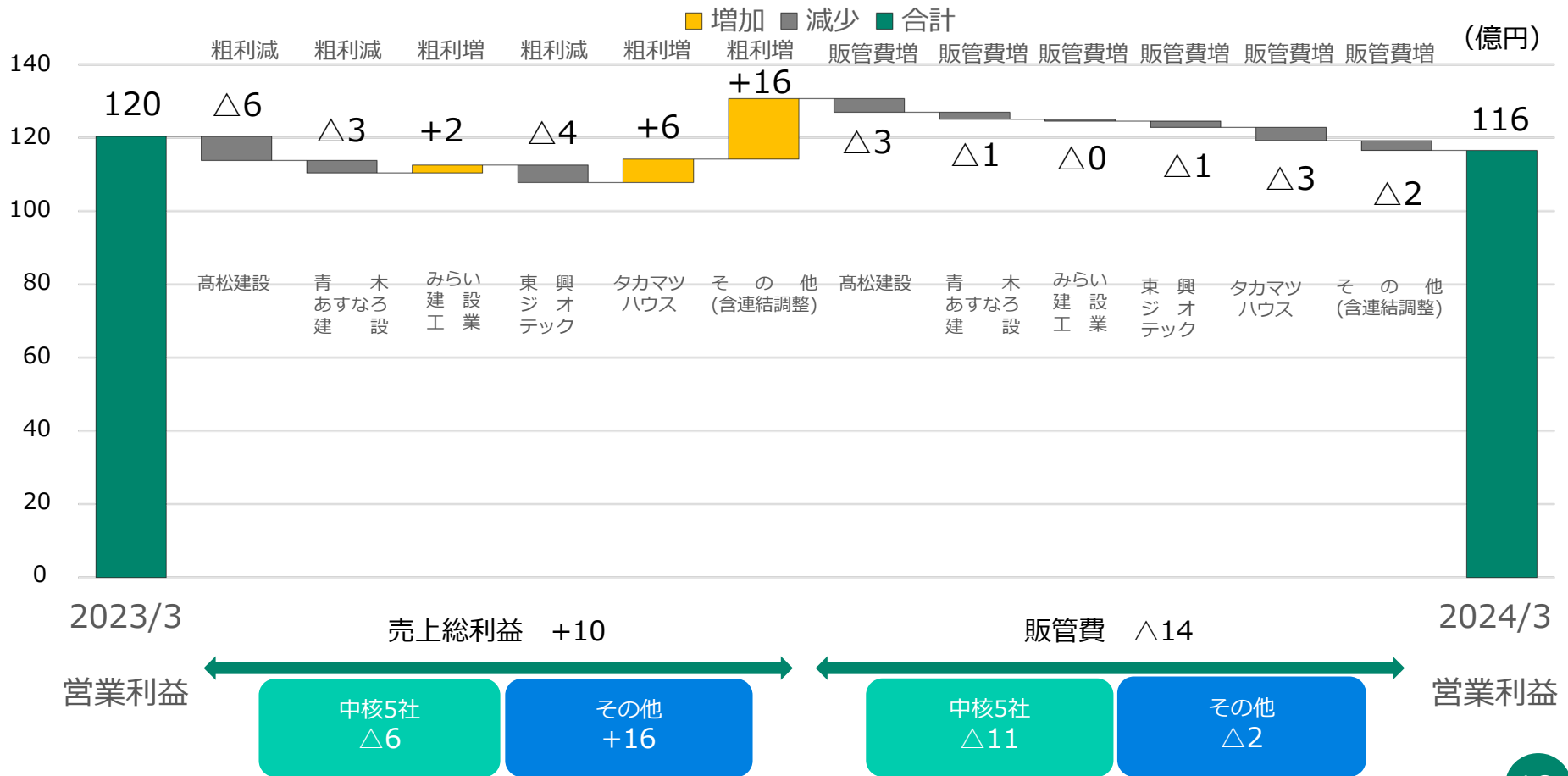
会社別	2021/3	2022/3	2023/3	2024/3
高松建設 (単体)	6,206	4,191	5,271	4,241
青木あすなる 建設 (単体)	1,507	2,368	2,574	2,040
みらい 建設工業 (単体)	816	725	937	1,102
東興 ジオテック (単体)	2,640	2,403	1,992	1,345
タカマツ ハウス (単体)	△266	107	851	1,132
その他 (含連結調整)	1,029	1,431	413	1,791
連結合計	12,198	11,225	12,038	11,651



売上総利益・販管費 営業利益増減分析

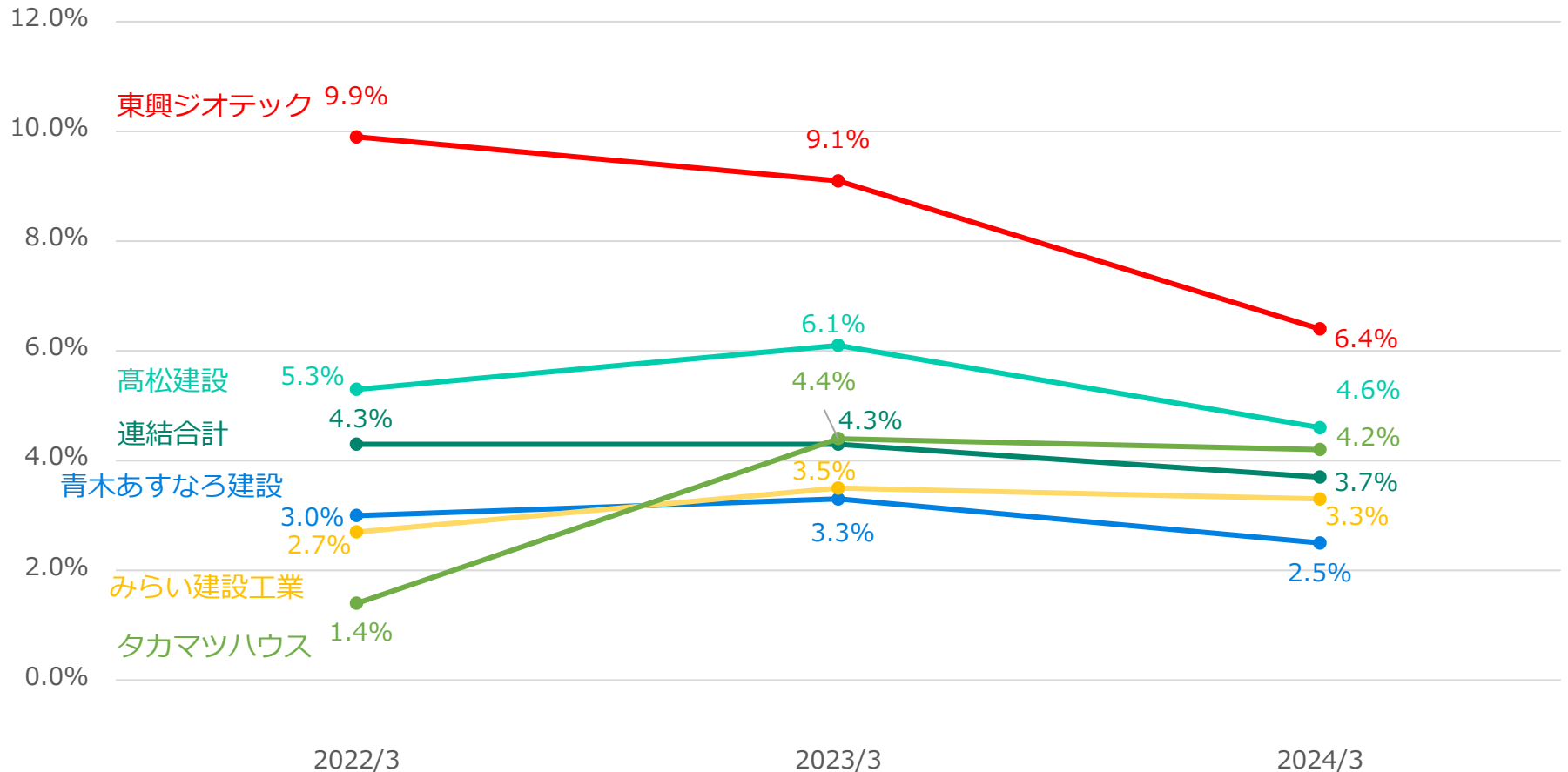
◆ 高松建設、青木あすなろ建設、東興ジオテックの売上総利益減を、みらい建設工業、タカマツハウス、その他中核5社以外の売上総利益増で補い、全体で前期比約10億円の売上総利益増。販管費は主に高松建設、タカマツハウスで人件費が増加し、全体で約14億円の増加となり、営業利益は全体で前期比約4億円の減少となった。

営業利益増減分析



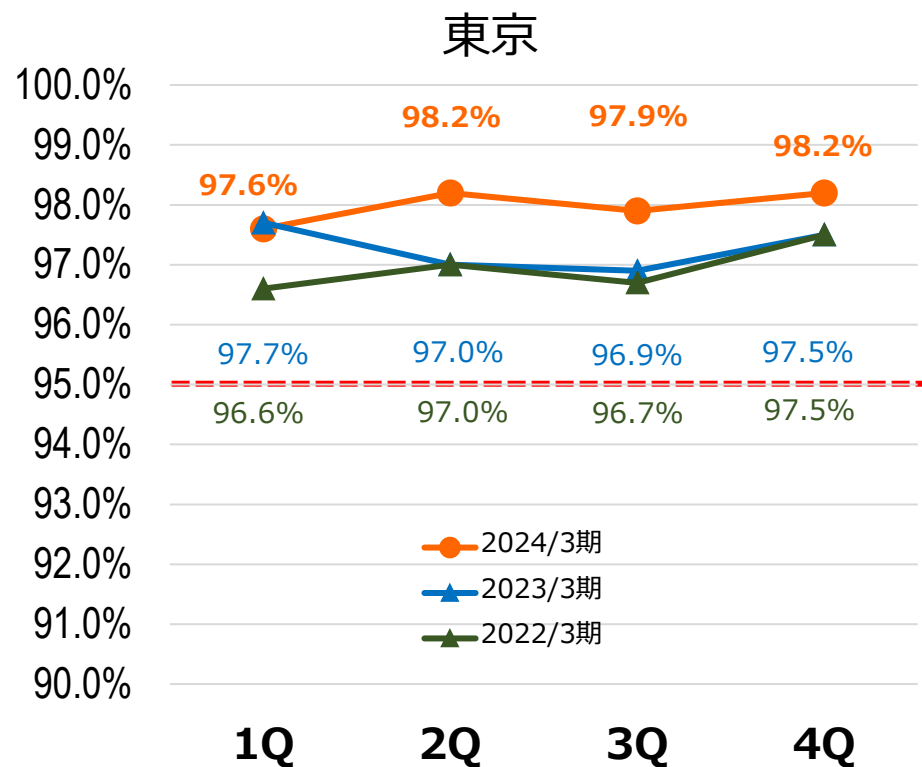
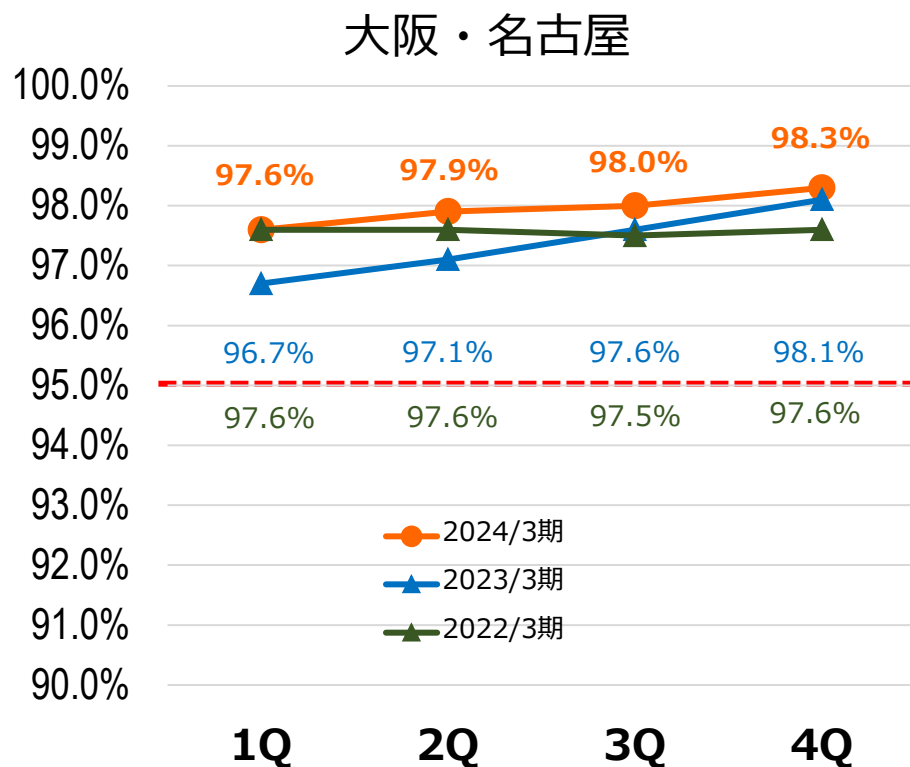
連結合計と中核5社の営業利益率

- ◆ 高松建設の売上総利益率は前期比△2.0pt、賃金水準の引き上げにより販管費のうち主に人件費が増加し、営業利益率は前期比△1.5pt。
- ◆ 青木あすなろ建設の売上総利益率は前期比△0.9pt、採用の継続と賃金水準の引き上げにより販管費のうち主に人件費が増加し、営業利益率は前期比△0.8pt。
- ◆ みらい建設工業は前期比△0.2ptと僅かに低下。
- ◆ 東興ジオテックは売上総利益率が前期比△1.4pt、販管費も増加し、営業利益率は前期比△2.7ptと大幅に低下。
- ◆ タカマツハウスの売上総利益率は前期比△1.3pt、販管費のうち主に人件費が増加し、営業利益率は前期比△0.2ptと僅かに低下。



高松エステートにおける高松建設施工物件の入居率

◆ 入居率は24/3月期も95%以上を維持。



定義：

「大阪・名古屋」＝大阪府、京都府、兵庫県、名古屋市

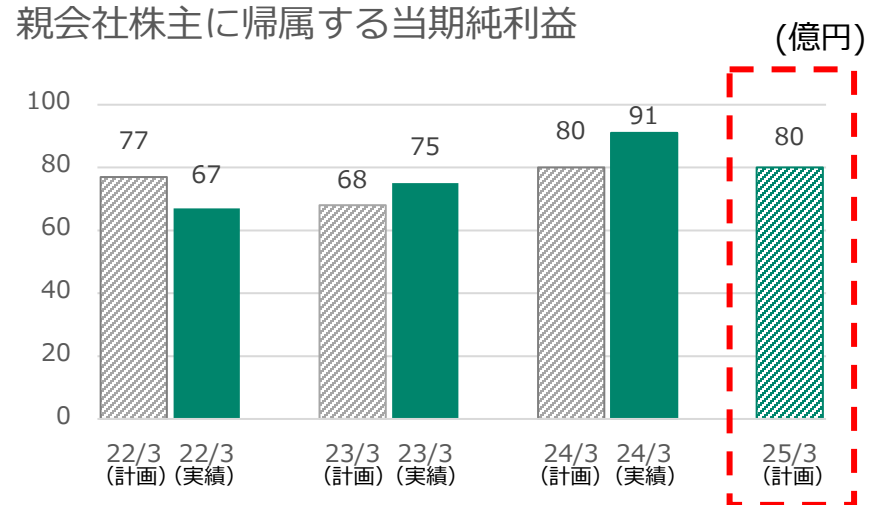
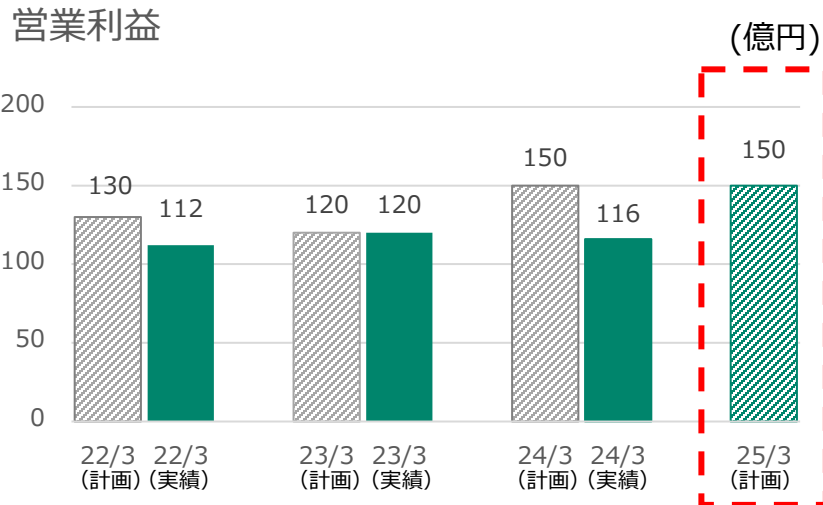
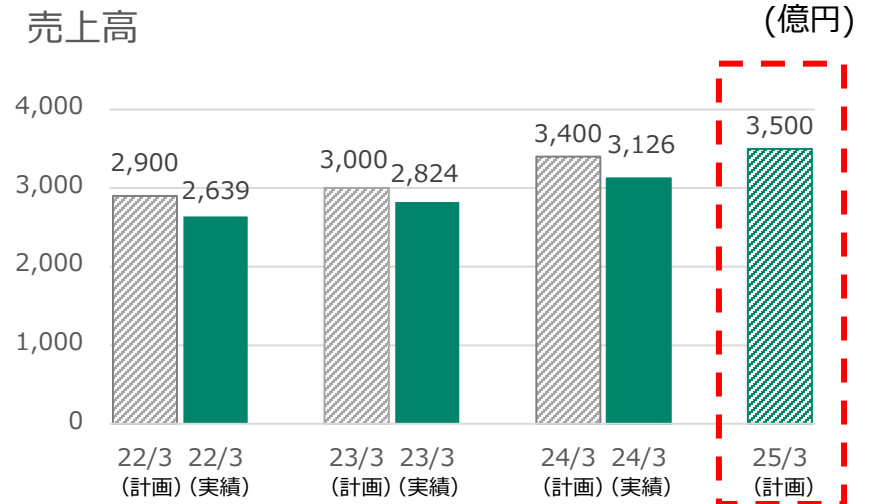
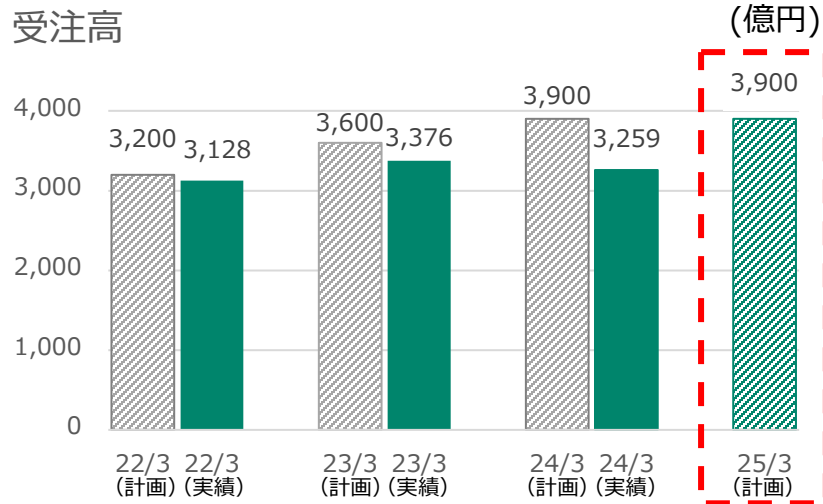
「東京」＝東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県

「入居率」＝各四半期末時点の高松エステートが管理している高松建設施工物件の入居戸数
 ÷ 各四半期末時点の高松エステートが管理している高松建設施工物件の総戸数

2025年3月期
業績予想・配当予想

2025年3月期 業績予想

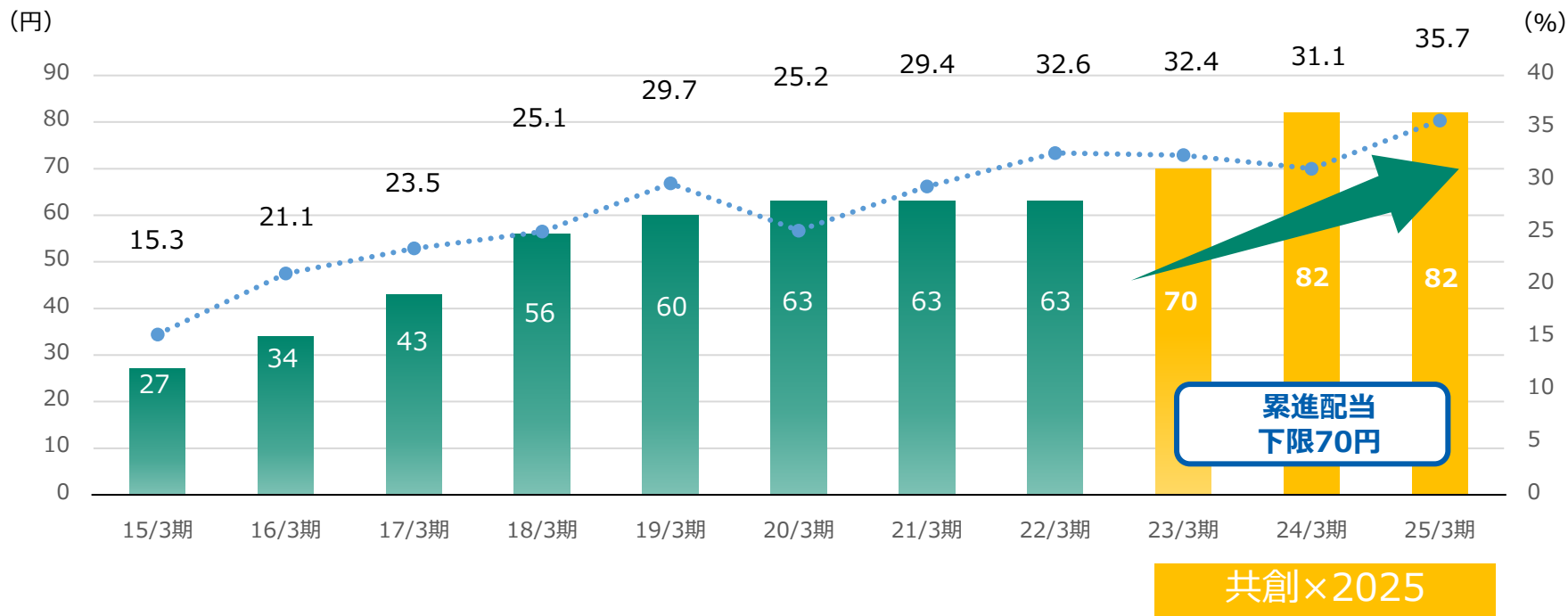
◆ 2025年3月期は、受注・売上・営業利益ともに前期を上回る計画。建築・土木ともに受注は堅調であり、不動産においても都心部では戸建住宅に対する需要が根強いことから、増収の見込み。選別受注による利益率の改善、売上増加による固定費負担軽減により、増益の見込み。



2025年3月期 配当予想（配当額・配当性向）

- ◆ 中期経営計画「共創×2025」（2023年3月期～2025年3月期）の対象年度においては**累進配当**を基本方針とし、年間の1株当たり配当金額の**下限を70円に設定**。業績に連動した利益還元をおこなう。
- ◆ 2025年3月期の配当額は1株当たり82円、配当性向は35.7%を予定。

配当額・配当性向 推移



2025年3月期 業績予想のポイント

2025年3月期計画	<ul style="list-style-type: none">受注・売上・営業利益ともに前期を上回る計画。【増収要因】 建築・土木ともに受注は堅調であり、不動産においても都心部では戸建住宅に対する需要が根強いことから、増収の見込み。【増益要因】 選別受注による利益率の改善、売上増加による固定費負担軽減。
今期の事業環境見通し	<ul style="list-style-type: none">公共建設投資は、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」、民間建設投資においては、外部環境の回復基調を受け今期も引き続きどちらも堅調に推移と見込む。不動産セグメントは、販売環境の厳しさは残るものの、都心部においては需要が根強いことから、前期比増を見込んでいる。原材料価格、資機材価格は高止まり、労務費は職方不足や2024年問題への対応もあり上昇が継続すると見込んでいる。電気設備関連に関してはリードタイムが長くなっているだけでなく、設備業者の施工人員も不足しており価格が上昇すると見込んでいる。
今期取組み等	<ul style="list-style-type: none">賃貸マンションについて、市場は堅調に推移する見込みであるが、原材料価格、資機材価格や労務費の高騰により建築コストが上昇しており、収益確保のため選別受注を継続する。中核3社（高松CG、高松建設、青木あすなろ建設）において、大卒初任給250千円から265千円へ、大学院卒初任給270千円から285千円へ、それぞれ15千円引き上げる。

トピックス

トピックス

◆ 高松建設

○分譲マンション事業を立ち上げ

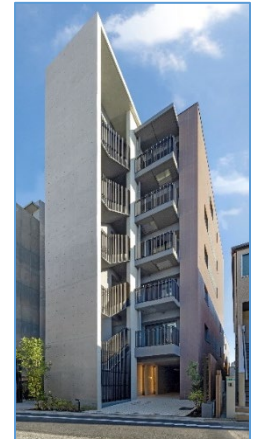
中期経営計画で掲げた「川上・川下領域への進出」に向けた取り組みの1つとして、2023年4月に分譲事業本部を立ち上げた。分譲マンションとしての『ティサージュ』ブランドと、一棟収益物件として保有し、将来的に不動産証券化や投資用賃貸物件としての売却をはかる『トリニティ』ブランド2つを展開している。

2023年9月にティサージュ大岡山、2024年1月にティサージュ豊田駅前が竣工し、全戸完売。

2024年6月にはトリニティブランドとして初となる「トリニティ豊中本町」が竣工。

今期中にトリニティ豊中本町も含めて5物件を売却予定。

▼ティサージュブランド
(分譲マンション)
上：大岡山／下：豊田駅前



ソリューション
提供型への
脱皮

川上に
重心分散

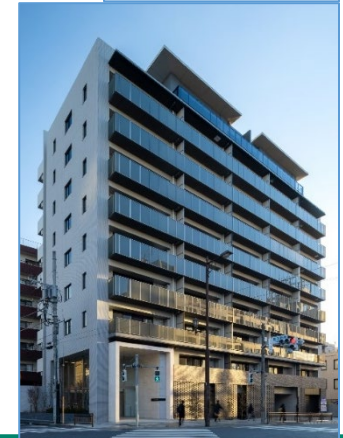
現在の
重心

川下に
重心分散

ストック
ビジネスの
実現

◀ トリニティ豊中本町（一棟収益物件）

- ・所在地：大阪府豊中市本町四丁目
- ・構造・規模：RC造5階建て
- ・用途：共同住宅、店舗
- ・工期：2023年9月～2024年6月
- ・敷地面積：1455.39㎡
- ・延べ床面積：2,324.96㎡
- ・建築面積：641.8㎡
- ・状況：売買契約済み



トピックス

◆タカマツハウス関西

○木造戸建住宅事業の関西地区への展開

中期経営計画で掲げた「川上・川下領域への進出」に向けた取り組みの1つとして、2022年11月にタカマツハウス関西を設立。木造戸建住宅事業の関西地区進出に向け、「タカマツの家」ブランドで展開をはかる。2023年12月には兵庫県宝塚市で第1号となる「山本西」の木造戸建住宅3棟が竣工した。5区画のうち、土地2区画、建売3棟で販売。うち建売1棟（山本西5号地）は販売引き渡し済み。



タカマツハウス関西

名称	タカマツハウス関西株式会社
所在地	大阪市淀川区新北野
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 八木 謙二
資本金	1億円
設立年月日	2022年11月1日
事業内容	関西を中心とした木造戸建住宅関連事業の 営業・企画・販売業務
株主および持株比率	高松コンストラクショングループ 100%
社員数	25名（2024年3月末現在）



▲山本西（左：1号地／右：2号地）

○「タカマツの家」山本西1号地・2号地

- ・所在地：兵庫県宝塚市山本西
- ・アクセス：JR福知山線中山駅徒歩10分
- ・構造・規模：木造2階建て3LDK
- ・工期：2023年7月～2023年12月
- ・販売価格：5,180万円～5,280万円
- ・敷地面積：100㎡
- ・建築面積：91.0㎡～93.8㎡

トピックス

◆ 高松建設

○「シモハナ物流・高槻物流センター新築工事」
高松建設では土地のあっせんから建築請負受注に繋げる取り組みを開始しており、本案件もその1つとして高松建設が提案し、設計・施工を担当する。

発注者：シモハナ物流株式会社

計画地：大阪府高槻市

工期：2024年6月1日～2025年7月31日

請負金額：32億円（税抜）

構造・規模：鉄骨造7階建

敷地面積：11,125㎡

施行床面積：17,217㎡



◆ 青木あすなろ建設

○「タカギつくば工場新築工事」

発注者：株式会社タカギ

受注者：青木あすなろ建設（単独元請）

場所：茨城県つくば市谷田部 F 5 4 街区 1 画地

構造・規模：鉄骨造2階建

工期：2022年7月25日～2024年1月31日

敷地面積：約16,500㎡

延べ床面積：13,667.27㎡

内容：工場、物流センター（事務所）の新築工事



◆ 未来建設工業

○ 「砂町開発 新設道路整備工事」

発注者：株式会社 I H I

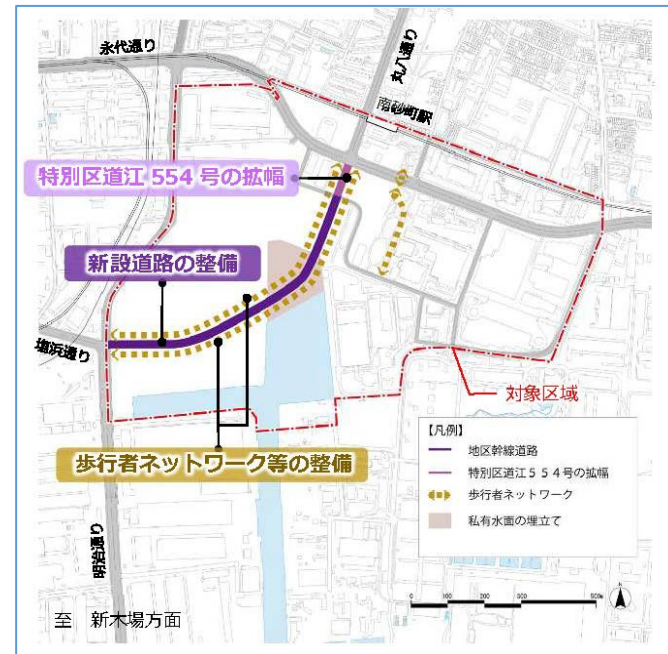
受注者：未来建設工業（単独元請）

工事場所：東京都江東区新砂二丁目地先

請負金額：27億円（税抜）

工期：2023年10月1日～2025年3月31日

工事内容：砂町の明治通りと永代通りを新たに繋ぐ新設道路の整備と特別区道江554号の拡幅工事。



出典：「新砂二・三丁目地区まちづくり方針」P18(江東区都市整備部まちづくり推進課)
(<https://www.city.koto.lg.jp/392200/documents/shinnsuna23choumemachizukurihoushinn.pdf>)

高松コンストラクショングループ

本資料に記載されている将来に関する記述は、本資料作成日現在で入手可能な情報にもとづいて作成したものであり、実際の実績等は今後様々な要因によって異なる可能性があります。また、当資料は投資家判断の参考となる情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却を勧誘するものではありません。